

高校生じゃない高校生年代の人に、
犯罪から自分を守るためのメッセージを
伝えるには、どうしたらいいと思う？

(出向く型)

開催日：2025年 9月 11日(木)
10月 18日(土)
11月 2日(日)

目次

2025年9月11日回

実施概要.....	3
高校生年代.....	4
20代.....	12

2025年10月18日回

実施概要.....	19
10代.....	20

2025年11月2日回

実施概要.....	25
1班（3名）.....	26
2班（3名）.....	31

2025年9月11日回

実施概要

- ・ テーマ
 - 高校生じゃない高校生年代の人に、犯罪から自分を守るためのメッセージを伝えるためには、どうしたらいいと思う？
- ・ 開催日
 - 2025年9月11日（木）
- ・ 出向き先
 - 若者支援団体
- ・ 参加者
 - 高校生年代 1名
 - 20代1名
- ・ 形式
 - 出向く型

高校生年代

- あなたは、16歳～18歳ぐらいの時に、こういったところと関わりを持っていますか。また、そこで、警察のリーフレットをもらったり警察の人が出前講座に来ることについてどう思いますか。

<警察が職員を派遣して学校で非行防止教室や薬物乱用防止教室を実施して闇バイトや大麻、SNSを利用した性犯罪に巻き込まれないようにといった若者の非行・犯罪防止に取り組んでいるが、そのようなイメージはあるか？学校で（実際にそのような教室が）あったか？>

- ・ 中学はほぼ不登校で、小6まではちょっとあった気がした。中1の1月から不登校なので、それ以降は学校とあまり関わりがない。
- ・ 薬物乱用防止教室は小学生からあった。（小学校時に）転校しているがどちらの学校でもあった。

<同年代の若者はSNSを使っているか？またどんなSNSか？>

- ・ 使っている。
- ・ 自分も旦那とSNSで知り合っていて、SNSを通じて付き合いを始めることもある。
- ・ ショート動画投稿アプリは上げない（投稿しない）けど見ている。自分がやっているのではなく、若者がやっているのは写真投稿アプリ。テキスト投稿アプリもそうだと思う（やっている人がいると思う）。
- ・ テキスト投稿アプリは写真投稿アプリをやっている子が多くやっているイメージ。写真投稿アプリ系列のテキスト投稿アプリみたいなもの。
- ・ リアルタイム共有アプリをやっている人はいるが、自分はそのアプリをやったことがないので（詳しくは）わからない。同年代もやっているが、自分は友達がいないのでやっていない。

<警察がポスターやチラシ、都道府県警察公式サイト、SNSなどで少年向けに情報発信を行っているが、見たことあるか？>

- ・ 公式サイトは見たことないし、ポスター・チラシもそんなに見ない。（非行や薬物が）ダメみたいな情報発信もあるにはあると思うが、自分は東京に来てからちゃんと見たことはない気がする。（見たことがないのは）自分の行っている場所の問題かもしれないが、あんまり見たことがない気がする。
- ・ SNSでもフォローしているアカウントのみが流れてきたり、AIによってその人が好きそうなものばかり表示されたりするため、（非行や薬物に）手を染めてしまう恐れのあることもたちが集まる界限・場所では（警察のポスターやチラシは）あまり流れてこないようになってしまっているのではないと思う。

<非行防止教室・薬物乱用防止教室は(非行)予防策として効果的な手法だと思うか？>

- ・ すごくぶっちゃけたことを言うと、こういう話は大体半数が寝ていて半数は話を聞いていない。あまり言っただけではいけないかもしれないが、あまり効果的ではない。
- ・ （効果的な手法とっては）ダメだと思う。

<警察の人が直接来て（非行防止教室のように）話を聞いたことはあるか？>

- ・ 自分は転校して小学校は2校通っているが、どちらも警察は来た。
- ・ 薬物乱用（防止）教室で（来た）。

<（非行防止教室は）効果的だったか？>

- ・ 違法薬物に関しては効果的かもしれないが、最近若者の間で流行っているオーバードーズはその当時（防止教室を）やっていなかったなので、オーバードーズとかの防止・注意の内容は聞いていない。

<オーバードーズに手を染めてしまうのは講義がなかったからか？>

- ・ （講義は）なかったし、オーバードーズがダメという印象もなかったし、流行ってたみたいなの。
- ・ いまはどうなのか分からないが、違法薬物もそうだがオーバードーズとかも（防止したほうがよい）。
- ・ 違法薬物の入り口としてオーバードーズを始める子は見ている印象だとすごく多い。
- ・ （オーバードーズに関する講座も）必要だと思う。本当に（オーバードーズから薬物始める子）多いので。テキスト投稿アプリとかだとやっぱり多い。オーバードーズどうやって始めればいいですか？みたいな投稿がすごく多い。やっぱりその子たちの啓発も必要だと思う。
- ・ そういう子に限って学校行ってなかったりする。

<SNS でお互いに質問し合ったり、やり方を教え合ったりするか？>

- ・ （SNS で）お互いに質問しあって、やり方を教えてしまっている。自分の主義として、もう二度と自分のような子は増やしたくないから、やり方を知っていても絶対に教えないというのが自分の主義。
- ・ でも承認欲求を満たしたいがために、自分が何かをすごく人に教えることができているという承認を得るために、「私オーバードーズ博士です。オーバードーズのことを教えます」みたいなアカウントを運営している子もいる。
- ・ オーバードーズ専用でアカウントを運用している子もいる。
- ・ オーバードーズしている仲間内ではトー横とかで、向精神薬にいちごみるくを入れるのが流行っていて、向精神薬に憧れを抱く子もいる。
- ・ 自分は精神疾患を持っていて、向精神薬がないと死んでしまうので（薬は必要ですが）。オーバードーズはしていない。
- ・ 薬物とって実は憧れの対象になっているのかもしれない。

<薬物が憧れの対象になったのは SNS による影響？他にもあるか？>

- ・ それもあると思う。絶対。
- ・ 主な要因は SNS だが、トー横とかは多分大多数が SNS の影響。自分は今それ以外には思いつかなかった。
- ・ ショート動画投稿アプリでもテキスト投稿アプリでも多く回っている。
- ・ オーバードーズに関する投稿は数も多い。多分インプ稼ぎですごい数回。本当によくない。

<令和6年の刑法犯少年のうち、有職少年が3837人、無職少年が2383人とあるかどうか？>

- ・ 刑法犯少年がわかりません。
- ・ 中学、高校行かずに仕事にいたりとかする方なんです。

● 闇バイトや大麻の危険性についてのポスターを見かけたり、警察の公式サイトを見るなど、警察が発信する情報に接したことはありますか。ある場合は、どのように感じましたか。

- ・ 公式サイトはみたことない。なかなか見る子いない気がする。
- ・ ポスターは多分貼ってあるが、目についたことはない。

<どこにあるかも分からないか？>

- ・ よくわかってない。多分警察の掲示板とかに貼ってあると思うが、そういうのに目を通す子はそもそも犯罪を犯さないというジレンマがあると思う。

<全く見たことがないか？ここ3年ぐらいでどうか？>

- ・ ほぼ全くないと言っても過言ではない。
- ・ 15から16歳の時、不登校で引きこもりだったので外に出ていない。17、18の代で東京に出てきたが、東京は人でごった返しているから、壁を見てポスターを見るという行為はなかなかしないかもしれない。

<どこにパンフレットやポスターを貼れば学校に行っていない高校生が見ると思うか？>

- ・ SNSもAIのフィルタリングによって、あまり表示されないと聞いたが、高校に通っていない子や高校に行かずに働いている子でも（情報に）触れられる場所はSNSだと思う。だけどSNSの特性上、あまりお勧めに流れてこない問題があって、どうすればいいのだろうか。

<SNSはよく見るか？>

- ・ よく見るが、どうすれば（パンフレットやポスターが）流れるようになるかは問題。

<SNS以外だと（ポスターやパンフレット掲示するのどこが良いと思うか）？>

- ・ 高校に通っていないとなると、みんな行っている場所がバラバラなので、具体的にどこに行けば（情報が）知れ渡るとかはわからない気がする。そうすると全国の会社に配り続けるしかなくなるが、それだと引きこもりの子や無職の子には届かなくなってしまう。

<みんながよく遊びに行く場所だとどこがいいと思うか？>

- ・ 繁華街の方が良いと思う。池袋や新宿などの繁華街。
- ・ すごく偏見にはなるが、犯罪に手を染める子は闇バイトだとお金がないとか、薬物だと心に問題を抱えている子とかが多い。そういう子たちに目につく場所となるとトー横に貼ってみるとか、池袋や新宿の居酒屋さんの外側とかに貼っていかの許可をもらって貼るとかの方が目につくとは思う。
- ・ それを見てやめるかやめないかは置いておいて、目につくかどうかでいうとそういう場所なのではないかと思う。

<（よく目につき記憶に残るポスターとして）世界一周旅行のポスターを見たことがありますか？居酒屋とかに貼ってある。>

- ・ 分かるかもしれない。聞いたことだけはあある。
- ・ 闇バイトとか、薬物に手を染める子ってどこかグれているというか、やんちゃなところが多いので居酒屋とかに多分入りびたる。これも偏見だが、居酒屋のトイレとかも効果的なのではないかと思う。絶対見るのでパッと（見れて）効果的かなと思う。世界一周旅行のポスターが知れ渡っているように。
- ・ 貼る文言について、ダメ、ゼツタイだと SOS が出しにくいと思う。やっぱり自分は悪いことをしているから、こんなことが他の人に知れ渡ってしまったら、ブルブルみたいな。どうすればいい？隠しちゃう？みたいな。
- ・ だから「こういうことをしたらここに相談してください。助けます」のような相談窓口みたいなのが必要かなと思う。それが実現できるかどうかは置いておいて、あくまで 1 意見としてそう思う。

<闇バイトは犯罪です、ドラッグは犯罪ですと書くといざ関わってしまったときに悪いことしてしまったと感ずるのか？>

- ・ そう。
- ・ ダメ、ゼツタイじゃなくて、助けを求めてとかの方がよい。それで捕まってしまうのは仕方ない。それは刑法の問題だけど、こういう時に助けますよという文言だと、助けてくださいはすごく言いやすいと思う。

<風邪薬とか買うので薬局とかにあると(広告などを)見ると思うか？>

- ・ 絶対みる。
- ・ 薬物は一度使用すると依存性がある。やっぱり、依存症は治療が必要。だからこそ医療につなげなければならず、医療につなげるためにはその現状を知ることが大事。その現状を知るためには、まず声を上げてもらわなければならない。声を上げてもらうには、まず助けてと言ってもらわないといけな。助けてと言うまでのハードルがすごく高いのが現状。
- ・ （ダメ、ゼツタイと書かれていても）ダメなことは知っているよってなる。
- ・ では、実際にやってしまったときにどうすればよいの？ダメなことをやってしまった自分は。闇バイトはお金なくて困窮しているとか、薬物だと楽になりたい面があってやっているの、ダメ、ゼツタイなことは知っていても手を出してしまった、ではどうすればよいかがない、いまだと。

- ・ ドラッグストアとかで個数制限かかっているが、あれは意味がない。いろいろなところを回れば買える。
- ・ ただ 1 個効果的だと思ったのは大量に入っている薬が減ったこと。例えば、とある薬は 24 錠入りで売っていたのに、最近 12 錠入りだけになった。また別の薬は 40 錠入りのものが 20 錠入りのものだけになった。通常量を使用する分には問題ないが、オーバードーズするには足りないようにしたのはよいと思う。
- ・ 有名なところというある薬はまだそれができていないので、それ（錠数制限の大切さ）もわかっていない節もあるのではないかと思う。対応できていない薬もまだある。
- ・ 成分に依存しているので、別の同じ成分が入った薬を買ってしまえばあまり意味がないので、（オーバードーズを）ゼロにするのは難しい。なので、助けてと言える環境にしたほうがよいと思う。
- ・ ダメ、ゼツタイは知っている。小学校の 3 年生くらいまではダメ、ゼツタイと教えてもよい。大体、お小遣いが出始めるのは小 5、6 年生くらいだから。もし手を染めてしまっても大丈夫。つらくて手を染めてしまったとしても、助けてくれる大人はいるので、ちゃんと助けを求めてくださいという文言を追加すると、薬物乱用防止教室も効果が出てくると思う。

<（注意喚起の文言として）ダメだよというだけでは不十分か？>

- ・ はい、それは知っている。今の小学校や中学校はわからないが、表（薬物で体に影響がでるといふ現状）についてもっと広めた方がと思う。依存性がある体をもろもろにするよって。
- ・ 人と約束するのは（対策として）効果的だと思う。人からの信頼を失いたくないから（約束を）守るみたいなのが大事。もし手を染めてしまった場合はそういう感じ（の対策）かなと思う。
- ・ そもそも手を染めないためには乱用してはダメだよと教えることだと思う。最初の入口を塞ぐためにダメを教えるのはよいが、もう手を染めてしまった子に対しては助けがいるよと伝えてあげるとよいと思う。

<闇バイトについてはどう思うか？>

- ・ 給料が高いのが多分魅力なのだと思う。

<SNS で募集をかけているのか？>

- ・ SNS など募集がかかっているのを見たことがある。SNS や求人サイト上でもある。バイトの求人アプリにもある。「猫を探す簡単なバイト」とか。猫はたしか高級車とかの隠語。そのようにわからなくして、猫探すバイトなんだなって（思う）。でもよく見ると怪しくて、バイト中は支給のスマホしか使えませんかとか。よくよく考えるとおかしいが、なんか猫探すバイトちょっと楽しそうだなって応募して、闇バイトで個人情報を抜かれるパターンも多いと思う。例えばこういうバイトは危ないですよとか具体例を出すことも大事。迷い猫を探すバイトだと思う人もいるかもしれないので。
- ・ ダメで情報を全部遮るよりは、情報をちょっとだけ出してこれは怪しいものだよって教えないといけなと思う。
- ・ 闇バイトによって募集しているバイトはないので。

<少し闇バイト防止の広告を実際にみてみましょう。思うところはあるか？>

- ・（「闇バイト」は犯罪です「確実に保護します」等と書いてある警察庁のアドトラックの画像を見て）こんなものではダメだよ。
- ・ バイト求人アプリでよくあるのが、最初に面接として免許証のコピーとか送ったりするやつ。多分その時点で怪しいですよ。でも、時給高いしそういうものなのかなと思って（しまう）。
- ・（闇バイトにはまると）口座情報を簡単に取られます。

<求人をも具体的にするには何が必要だと思うか？>

- ・ 具体的には（求人内容は）わからないと思う。情報がないと守れないって思う、自分のことを。だから、その情報を提供するのも（雇い手の）役目だと思う。
- ・ 楽な求人は危ないとかだとわからない。楽なって何をもって楽なのか。こういうものは隠語ですと伝えると（よいのではないか）。
- ・ 闇バイトは楽に稼げるのもそうだが、応募要項がとても緩い。だから精神疾患とか心に問題を抱えている人でも始められてしまう。境界知能の人とかは（闇バイトに）はまりやすい。楽に始められてしまうので、心に問題を抱えている人でも働ける場所が必要。厳しい。
- ・ 心に問題をかかえている人が働くことはとても難しい。自分も今悩んでいる。続けられない、普通のバイトが。自分はそれで2回バイトを辞めている。だから単発、簡単、高額に釣られてしまう。
- ・ 消えるメッセージや匿名アカウントを作りやすい連絡手段はダメ。

<(警察のポスターを見ながら)このポスターは具体的な危険バイトを示したポスターとしてどうか？>

- ・ 良いと思うが、目には入らない。

<このポスターはどこにあればよいと思うか？>

- ・ 若者支援団体は問題があってくる子が多い。でも（社会との）窓口に繋がれていることに結局なる。だから、若者支援団体が仕事を探すのを手伝ってくれるとか、若者支援団体はぶっちゃけ結構ちゃんとした場所だと思っている。安全な仕事を一緒に探してくれた。自分も一緒に仕事を探してもらったことがある。結局、話は受けなかったのですが、探してもらったこともあり、協力的な場所であると感じている。若者支援団体は（ポスターが）なくても大丈夫と思う。
- ・ 安全ではない場所もある、トー横とか。繁華街系はやっぱり危ない。どの時代のヤンキーも、どの時代のグレているやつも繁華街とかにいる。

<繁華街のどこに行くのか？>

- ・ ゲームセンターはいない。カラオケやネットカフェにいる子もいると思う。
- ・ ちょっと汚いがみんなでラブホに泊まることもあるので、そういうところに貼ってもいいかと思う。

<トー横にいる人に抑止を促してもあまり効果がないと思うか？>

- ・ ライト層には刺さる。トー横新規みたいな層がいる。トー横には新規と古参もいて、古参が強い。古参は村社会だと思う、歌舞伎町やトー横は。古参は古参で上手くやっている。上手くやっているというのは、犯罪とかなく上手くやっているのではなく結構働いている、意外と。(古参は)意外と働いているが、新規は家出少女や家出少年がとても多い。自分の知り合いでトー横に行っている子はみな働いている。本当にお金に困っている人が問題なのかなと思う、立ちんぼとか。
- ・ あれ(立ちんぼ)ってホス狂、ホス狂いとか整形狂いとか言われているが、実際に生活困窮者もたくさんいる。立ちんぼの中にもグループがあり、最近大元の古参だった4人が捕まったらしい。すごく巨額の金額を稼いでいる人たち。その人たちが運営しているグループも徐々に打破されていくのではないかなと思う。
- ・ でもそういうのをやるのってやっぱりお金が必要で、そういう子たちを支援するとなると、どういう(方針)がいいのだろうなっていうのが課題。

<まわりがみんなやっていると悪いことしている感覚はなくなるか？>

- ・ (悪いことしている)感覚はなくなる。一方でやめようと思える子はやめられる。

<やめたいと思ったときにどこにポスターがあればいいと思うか？>

- ・ スマホは大きいと思う。

● 学校に通っていない人に警察のメッセージを伝えるのに良いと思う方法について、あなたのアイデアを教えてください。

- ・ SNSの広告も警視庁のアカウントが投稿するのではなく、広告として打つのもありだと思う。嫌でも目にはいってくるので、広告って。SNSアプリに広告たくさんあるので、警視庁として出すのではなく広告として出すのはよいと思う。

<そのTシャツはどんなものなのか？>

- ・ もともと推していた女の子がオーバードーズしていて、その人の生誕ライブTシャツ。その当時好きだったし、かわいいなと思って買って、サイズがちょうどいいのでまだ着ている。

<そういうTシャツって(注意喚起にすると)流行ると思うか？>

- ・ 流行らないと思う。

<その配信者は今も配信やオーバードーズを続けているのか？>

- ・ 1度自殺未遂をして今はユーチューバーをしている。今アイドルはしていない。地下アイドルだった。
- ・ オーバードーズをやっていることを公表している地下アイドル。いまも(オーバードーズは)やっていると

思う。

<ほかにこれは言っておきたいことはあるか？>

- ・ 精神疾患とか、心に問題を抱えている子が働ける場所がもっと増えればいいと思う。そうすればパパ活や立ちんぼは減る気がする。男性ならゲイ立ちんぼ減る気がする。働ける口がないからそういうのに走ってしまう。高額だからというのもあるかもしれないが、働ける口がないからそういうのに走る層が一定数いるので、やっぱり働き口を増やしたい。個人的にも増えてほしいと思う。すぐにできる話ではない。徐々に改善していくしかない。
- ・ 障害者雇用ってなると給料低い。クローズドで働く選択をする人も多いが、それで続かなくなっちゃってお金が足りず、生活保護も通らない。それで闇バイトに走っちゃったみたいな子もいた。（社会の構造の問題もあると思う。）
- ・ みんながみんな簡単に稼げると聞いてノリでやっているというよりは、たちゆかなくなっているのではないかと思う。ほかになくてこれしかないと藁にも縋る思いでやっている人もきつといて、そういう層は減らせた方がいい。簡単に稼げるらしいぜ、やってみようぜみたいな人たちへの対策はいまのままでよい。
- ・ 現在の対策に加えて、こういうバイトは闇バイトだよとか、高給取りといっても将来絶対犯罪になりますよみたいな（情報共有をした方がいいのでは。）
- ・ 書いてはあるが、これらはぶっちゃけみんなが知っているような情報である。高額、即日、ホワイト案件、シグナルやってないのはいいい情報。最後に相談してくださいというのはよいと思う。薬物でもオーバードーズでも似たようなものがあればよいと思う。

<若者支援団体はどうやってつながったのか？>

- ・ 知り合いの紹介で、友達がいなくて一人で孤立している状態で友達にこういう場所あるけどくる？って聞かれてつながった。のちのち、仕事探しも手伝っていただいた。

<今日はなんで受けてみたのか？>

- ・ 自分みたいな人を減らしたかったため。（若者支援団体）メンバーから個人で通知がきたので。
- ・ 孤立していたとか、精神に問題を抱えている人が多いので、やっぱり自分みたいな子が減ったら嬉しい。自分も楽になるし、自分も働き口が増えるとか。引き返せなくなる子も減るだろうし、ちょっとした社会貢献をしたいと思った。

20代

- 闇バイトや大麻の危険性についてのポスターを見かけたり、警察の公式サイトを見るなど、警察が発信する情報に接したことはありますか。ある場合は、どのように感じましたか

<闇バイトや薬物についてのポスターなどは見たことがあるか？>

- ・ 警視庁や役所などの掲示板で貼っているところは見たことがあるが、正直効果がないと思っている。実際見ている人はいないと思う。もともと自分がそちら側の人間で現状を良く知っているからこそ、効果がないと言える。

<どこで見たことある？>

- ・ ネットとかというよりも、用事がある区役所に行くときとか、交番などの指名手配犯の手配書の横などに貼ってあるのを見たことがある。そういう所じゃないと見ないし、毎日チラシなどを配っているわけでもない。

<高校生年代の頃に（犯罪が行われている現場を）見かけたことはあるか？>

- ・ 全くない。ニュースなどでも出回らない。なぜなら足がつかないように彼らは動いているから。組織的犯罪だったとしても受け子や運び屋、販売担当の（言わば下の）人間を見つけても上の人間まで足がつかないように動いている。
- ・ 職質なども法律的な問題で、厳しく追及することが難しかったりする。自分自身複数回職質されたが、7割強くらいの警官がしつこかった。任意であれば断れると思えばその態度でいると、「断る理由があるということは、やましいことがあるのではないか」と思われ余計しつこくなる。電車まで付いて乗って来る警官もいて、その動画がネットに出回っている。やましいことがあろうがなからうが急ぐ理由があるから断る、警官側も防犯という職務遂行のためにやっている。賛否両論あるけども警察の立場で言うと、薬を使用しているように見えないと声かけてこない。自分は東京に来てから2、3回くらいしか（職質）されていないし、追い返している。警官から職質を受けたときに、どういう知識で返しているかが大事だと思う。

<どうやって警察を追い返していた？>

- ・ 警察の隠語を使えば大体の警官は嫌がる。（自分は）免許証を見せながら犯罪歴・違反歴がないことを隠語で伝えたりすると警察は嫌がる。

<どこでその隠語の情報を知ったのか？>

- ・ 自分が職質されすぎたので、対策法がないかを調べていた。実際にネットにあって、試してみると効果てきめんだった。

- ・ 警察を見た時の表情の変化などを見て、警官は職質するかどうかを決めていると思う。

<闇バイトや違法薬物のポスターは意味ない？>

- ・ 風俗の内勤していたときも、そういう話は流れてきていた。足がつかない飛ばしの携帯や電話番号なんてものはいくらでも手に入る。他人名義で組織の中の名義貸しをしている人もいたりして、結局足がつかない。(そういうもので) 得するのって誰か？組織的犯罪者の上の人間になってくると思うんですよ。半グレ・ヤクザ。結局 SNS を使って稼げるよっていうものは基本詐欺しかない。そこから変えるべきだと思う。

<そこからというのはどこから変えるべきだと思うか？>

- ・ ネットで出回っているところから闇バイトや詐欺は始まっている。今の世の中はもうネット時代。「これだけやったらお金を振り込みますよ」と最初だけはお金を振り込まれるが、(案件を実際に遂行したところで) 報酬が支払われない、詐欺となっても強制捜査も行われない。学校に行っていない人たちはネットに依存しがちになる。では学校に行くにはとなると、今度は学校に問題があると思っている。

<そういう案件が出回っているということか？>

- ・ 草津の自殺事件があった。いじめがあっても教師が助けてくれない、見て見ぬふりをする。だから学校に行かない、退学する。家庭的な事情などで学校に行けなくなっている人もいるが、働いていけば社会と関わりがある。うつ病などの病気が原因で社会に接点を持てなくなった引きこもりから、犯罪に発展するとかは安倍総理の事件にもつながる。学校に行けるような環境を作るべき。学校に行けても家も地獄の環境となった時に、ネットへ依存して闇バイトに手を出すという流れになってしまう。家庭環境・学校的环境から変えるべき。

● 警察のポスターを貼ったり、リーフレットを置いたらよいと思う場所がありますか

- ・ 小中高・大学に配るのが良いと思う。

<学校に行けていない人にはどう配布すべき？>

- ・ ポスティングが良いと思う。短期バイト求人アプリでそのポスティングのバイトの募集をして、徹底的にすれば良いと思う。

<家にそういうチラシが来たら見るか？>

- ・ 見ると思う。ただ興味ないので捨ててしまう。継続は力なりというので、興味を持つまで継続するしかない。学校に行っている、行っていないは関係ない。できることをまずやっているかという話になると思う。
- ・ 掲示板のポスターなどは、掲示板としてあるから効果がない。見てはいるけど読んでない。

<読んでもらえる内容だったら良い？>

- ・ これは何だ？と興味を引くものが良い。小学生だったらヒーローものにしてみるとか。年代によって、学生だったらそれに合う内容にするとか。ドラマと同じで「これは好きだから見る」「これは嫌いだから見ない」のように、どれだけ注目を集めるかが大事。

<中高生年代だったとき、どんなチラシだったら興味を持った？>

- ・ 動画だったら見る。各種 SNS や動画サイトなどを活用すればよい。若者支援団体や他の団体でも活動を SNS で発信していて、実際自分も見ている。外でできることは外でやり、SNS でできることは SNS でやると良い。電車とか乗っていても、学生はみんなスマホを見ている。広告費払って CM を打ったりするより（SNS などが）早い。とにかく数を打たないと変わらない、減らない。

<SNS でどういう内容を出すと見る？>

- ・ ショートドラマにして見るとか。「これ何だろう？」と気になるようなものをあげれば、再生数も上がる。再生数が上がれば、フォロワーも増える。頭の片隅に内容が残れば良いと思っている。自分も虐待を受けてきた身なのでそう思う。SNS を活用しない手はないと思っている。どこまで認知・注目を集められるかだと思っている。小学生だったらヒーローや戦隊ものが好きだったりする。こどもだけじゃなくて趣味で見ている大人もいる。そういう人たちにも刺さる内容を出せるかも大事。

- あなたは、16 歳～18 歳ぐらいの時に、どういったところと関わりを持っていますか。また、そこで、警察のリーフレットをもらったり警察の人が出前講座に来ることについてどう思いますか。

<学校に行っていない人たちに、届きやすい伝え方はあるか？>

- ・ SNS を使う。SNS を見られない子には、ポスティングや親御さんに話をしに回るとか。ただ、いちいち回ることにはできない。（ポスティングをする人も）忙しいし、担当のエリアがあったとしても回り切れない。うつ病などの精神的病気が原因で学校に行けない人や寝たきりの人、植物状態の人もいるし支援がないと生きられない人もいる。「届いてくれると嬉しいし、そういう犯罪がもし減るなら...」という想いを込めるのが良い。「届けたい」だと、受け取った側はダメなんだという認識をし、ダメだということで逆にやりたくなる人もいる。心理的に逆効果だと思う。
- ・ SNS のショートドラマや刑事ドラマで実際に抑止力になっていたりする。日本の性犯罪が少ないのは風俗があるから。今の世の中で生産性を出せる人と出せない人がいて、出せない人が結局闇バイトとかに走っている。生産性を出せるようなことをしているかというところが「届ける」「届けない」よりも問題。組織で世の中は動くので。闇バイトでも上の指示がないと動けない。外回り組の人間がいて、事務の人間がいて、理事がいて、と、組織でなり立っている。その組織を破壊しないと無理だと思う。
- ・ 使える方法は全部やる、継続は力なりでそれを続ける。やるべきことをやらないで、意見(を聴きたい)といっても意味がない。

<1 回目は特に印象がなくても、2、3 回見たときに、3 回目であれまらずいんだなって思うことはある？>

- ・ ドラマと同じで 1 話目、2 話目、3 話目で印象が変わることはある。シチュエーションを変えて 1、2、3 回みたいをやったらよい。こども家庭庁も警察庁と連携はできると思うので、想定されるシチュエーションを 1 分の動画、少なくとも 10 分以内にまとめる。それを動画サイトに流すだけ。
- ・ 男女ともに支援している東京の施設は若者支援団体が唯一だと思っている。地方に行っても正直こういうところはない。種類を分けていくと動物保護団体があったり、保護した動物を譲渡するみたいな団体もあるが、女性専用の団体が多い。なぜならそういう（犯罪）現場から逃げてきた子たちが多く、シェルターの役割を果たしているから。闇バイトじゃなくて組織的にアプローチをかける。

<夜の繁華街にいるこどもたちへのアプローチはどうするか？>

- ・ 警察という立場でやるとみんな逃げてしまう。「こども家庭庁の人間なんだけど、だけでも聞かせてもらえるかな、何かあったのか相談に乗るよ」と接して、そういう団体への繋ぎの役目も果たすと良い。

<警察の人が若者支援団体などで出前講座などを開くことはどうか？>

- ・ 全然良いと思う。法人と警察が連携していることは価値があると思う。警察が近くにあるとすぐに駆け付けてくれる。こども板橋交番がある。

<警察の人の話を若者支援団体の若者は聴いてくれるか？>

- ・ 「来たいなら来てても良いよ」のように声かけるのはありだと思う。声をかけるところから始めて、「また来たい」という人数が増えれば、自由参加の形をとるといような段階を踏めると良い。来てくれる子もいるだろうという見立てで、10 手先まで読まないといけない。
- ・ 正直今の警察は機能しない。何かあって相談したとしても動いてくれるとは限らない。警察が全部動けるか、抑止力になっているかという、そういうわけではない。国の組織としてまず問題がある。税金も上がっている。仕事していても飯が食えない人もいる。自分も苦しい。

<闇バイトに手を出しそうになる時、何が抑止になった？>

- ・ お金ないから手を出そうとした。自分のその時の環境にかかっている。例えば、失業して、生活保護ももらえず内勤もできませんと八方塞がりの状態になった人間は何するか分からない。殺人などに走るかもしれない。捕まっちゃえば、衣食住が確保できるわけだから。

<やらなかった大きい理由は？>

- ・ そこまでやらなくてもいいかとなった。「やったところで自分の何になる？自分が良くて相手はダメだろう」と客観的に見た。自分を客観的に見られるかが大事で、犯罪に走る人は思考がねじ曲がっている人が多い。政治自体を変えないといけない。今は金を（国に税金等で）取られてすっからかん。話が大きくなってしまっけど、「闇バイト減らしましょう」「犯罪減らしましょう」とかは税金下げてから言えて話で、まず食っていけるような状態にしてほしい。国の財産って国民なわけじゃないですか。一番

根本的な話で、政治から変えないといけない。

<政治や法律に関心を持ってもらうには？>

- ・ 闇バイトに走る人たちは、政治に関心がないからそっちに走っちゃう。自分はある政党をよく見ていて、よく頑張っているなど感じる。国会で大きな声を出せてすごいと思うし、それぐらいやらないと変わらないと思う。その政党の SNS などのフォロワー数も増えているし、賛否両論あるけど言い返せる力がある。

<身の周りの人は、どんなコミュニティにいる？具体的にアプローチをかけられると良いなど感じるコミュニティはあるか？>

- ・ 宗教団体とかに入ると自分たちの思い通りにいかなくなると、相手との関係を切れとかは普通に言ってくる。そういうのが全くないクリーンな状態、人間関係に口を出さず神様の言う通りにしなさいとかのものを徹底的にやると良いと思う。宗教に入って人生が狂って入院してしまった人も見たことがある。仕事で稼ぎたいって言っている人を歌舞伎町で知り合ったキャッチに繋いであげたけど、すぐ飛んだりとかっていうのはよくある。宗教団体とか女性を支援する活動とかをもっと助けてあげると良いと思うし、若者支援団体がそこに乗っかれば男性も救えるし、法人としての活動の実績にもなってそういう犯罪が減っていけば国としても Win-Win の関係になる。そういう状況をもっと作れば良いのと思う。
- ・ 男性を助ける支援って東京はほぼない。調べても出てこないし、住居を持っているところなんてほぼない。未成年でアパートをやっている法人もあるけど、結局助けられてシェルターに未成年は入れるが、（それを繋ぎとめる存在が必要。）それができないようじゃ今集めている意見も無駄になると思う。

<周りの若者支援団体につながってない子はどこに出入りしている？>

- ・ 家庭で引きこもっているか、ト一横、池袋、大宮界限など。いろんな界限があって、集まってお酒飲んだり。それはなぜかという、現実と向き合いたくないから。現実と向き合えるような環境づくりが重要。薬、大麻の売買なんて当たり前。風俗の内勤やっていた時なんて、流れてくるのなんて当たり前。匂いで分かる。

<そういうところにはやはりポスターなどは効果がない？>

- ・ そういうところはグレーなゾーンなだけで、その外は安全。場合によってはそのグレーゾーンの何か所かの外のつながりには足を踏み出すと危険で、明日生きるか死ぬかの世界で生きていかなきゃいけないところもある。若者支援団体とつながったのは、そういうつながりを法人は持たないからという理由。暴力団も暴力団で完全に悪というわけではないと思う。任侠という世界に生きていて、悪いことばかりやっているわけではない人もいると思う。

<ト一横や大宮界限の人にポスターを渡して、響くか？>

- ・ 響くと思う。根はすごく真面目で周りに流されやすい人たちだから。そういう子たちを正していくことが大

事で、一人ずつに地道にやっていく作業かもしれない。一人だけでも一歩前に進めるのは大きいこと。

<そういう限界で、「自分(非行)辞めたんだ」という子が現れたとき、周りにも波及するか？>

- ・ 思う人もいれば、思わない人もいると思う。「辞めたけど遊びに行くことがあるよ」「失業したけど遊びに行くよ」とか、「飲みに行くよ」みたいなテンションで伝えられると変わると思う。理由があるからそういう限界の場所が封鎖されている。チラシがどうかの議論をここでしたところで意味がない。数打たないと。

<そういう（非行に走る）人たちを減らすために、警察ができることはあるか？>

- ・ 何もないと思う。結局は発覚した数しか分からず、警察に見つかったら逃げてしまうから。「こいつは警察だから、声かけたら捕まる」とかは顔で覚える。キャッチをやっていた時も、「こいつは警官だから、声かけないでおこう」とか思っていた。自分にやましいことがあるから逃げる。警察は権力を持っているけど、全部の事案を解決できるわけじゃない、となると結局警察って意味ない。こども家庭庁とか若者支援団体みたいな法人などの警察以外の大人が手を取り合う。人と人が支えあって、その上の人間が輝けるようにしないとイケない。縁の下の力持ちになる必要がある。

<警察以外だとどういふ組織が良いか？>

- ・ 若者支援団体のネットで、こういう（非行防止に関する）動画を取り上げてみますと試してみるとか。参加者しか見ないかもしれないけど、いずれ変わっていくと思う。
- ・ 自分が言っている意見はねじ曲がっていると思うけど、なんでそんなことが言えるかという自分はその側の人間だったから。自分が捕まらないように女の子を遠隔で派遣をするという荒業で稼ぐ方法もあるけど、暴力団にみかじめ料を払う必要があったり、警察に届け出を出さず無視してするとかはできるけど、捕まるリスクもある。秋田で無免許で運転したこともある。そういう真っ黒な人間が話してよいのかという思いもあった。

<そういうところで捕まって後悔している子たちもたくさんいる？ どうやってそういう子たちを救えば良い？>

- ・ 結局若者が政治に興味があるかの問題。国の上のトップがダメだから下の国民もそうなった。

<一人の人が良くなることで、それがどんどん広がっていくことがあるか？>

- ・ 1つの良いアイデアが拡散される可能性もある。俺はそういう仕事がしたい。
- ・ 自分が思う一番大事なことで、人とのつながりを大事にできない人はダメだと思っていて生産性のない人間だと感じている。自分は友達だろうが何だろうが、ガツンと言う。それで逃げた人間も、もう関わりたくない人間もいる。ただガツンと言われて逃げるということは、現実から逃げているということ。そういう根本を変えるべき。そのためにこども家庭庁があって、警察では難しい障害者支援団体やそういう民間の団体と連携をとれる。
- ・ 今の世の中は正直生きにくい。育児でも何をしてもすぐ「虐待だ」とか言われ、動物でもダメなことをし

だからただ叱っただけで「可哀そうだ」とかですぐ炎上する。そんな世の中でうまく生きていけない。上の人とは意見が合うけど、同世代とか近い人とは意見が合わない。これから学んでいこうみたいな人間と話しているとちゃんと自分の意見を聴いてくれるが、ちゃんと話し合うという状況だと上の人じゃないと話が合わない。法人の理事会や子ども食堂とかでも、（今までのやり方を続けるだけじゃなくて）今の意見を取り入れないといけない。もともとやってきたやり方で今人がいないんだという状況を認識して、誰かがダメなところダメって言わないといけない。ダメって言える人がいないと組織は直らない。自らが嫌われ役となってダメという人がいないと、組織はダメになる。若者支援団体が民間の組織として成り立っているのも、楽せずにはダメなところはダメって言うし良いところは良いって言うところだと思う。自分はそこを評価する。自分が飲食店の経営をしていた時は、部下やバイトの子も自分が辞めたら皆辞めてしまった。しっかり信頼を築けていた。

- ・ 一度指示すると皆従う。皆指示に従わないから法律を守らないし、闇バイトに走ったりする。日本人は皆素直だから指示に従う。

<今回この出向く型での開催は、良かったと思うか？>

- ・ 自分のような人間がいるということを伝えられたので良いと思う。

2025年10月18日回

実施概要

テーマ

- 高校生じゃない高校生年代の人に、犯罪から自分を守るためのメッセージを伝えるには、どうしたらいいと思う？

開催日

- 2025年10月18日（土）

参加者

- 1名

形式

- 出向く型（若者支援団体）

10代1名

- 闇バイトや大麻の危険性についてのポスターを見かけたり、警察の公式サイトを見るなど、警察が発信する情報に接したことはありますか。

ある場合は、どのように感じましたか

<闇バイトや大麻について見たり聞いたりしたことはあるか？>

- ・ ない。記憶にないので、多分見たことない。
- ・ 言い方がアレなのかもしれないが、目にはついていない。

<警察の公式サイトとかは見ただことあるか？>

- ・ ここに来るにあたって一回調べたんですけど、あんまり内容が理解できなかったか、もしかしたら、開くホームページを間違えたかもしれない。内容はあまりわからなかった。
- ・ ホームページは見にくい、もっとわかりやすくしてほしいって思った。

<ポスターはなぜ目に入らないと思うか。こうしたら見てもらえるんじゃないかと思うことはあるか？>

- ・ ポスター自体を設置するなら、人目につくところがいいと思う。
設置とは違うのかもしれないけど、電車のつり革のところに、ポスターみたいなのが飾ってあるじゃないですか。あそこら辺とかに置いたら、結構目につきやすいんじゃないかなと、個人的には思ったりする。
- ・ 移動中の吊り革とかにあつたら、なんとなく見る気がする。
- ・ 電車とかに貼ってあると、個人的には見ると思う。

<（具体的に）ポスターのどういう部分が目につくと思う？>

- ・ 難しい。
- ・ （見せ方という意味では）漫画形式とかの方が目につきやすいと思う。
- ・ 他のことでもいいなら、ポスター貼るなら、飲食店のレジ横とかに貼ってあると、目につきやすいと思う。
- ・ あとは、エレベーターの中とか。

<立ち止まって見れるような場所が目につきやすい？>

- ・ そうですね。
- ・ 狭いところがあると怖いとかは特にない。

<若者支援団体に貼るとみんな見てくれると思うか？>

- ・ どうだろう。ここに貼るなら、階段の横とか。みんなたむろしていることが多いので。
- ・ そもそも友達同士で話題になったりすることも正直ない。

- ・ (ニュースでもやっているとはいえ) 最近の若者はニュースをそもそも見ない。ネットで見るといい。

<ネットで見たときはどう感じるか>

- ・ たまに考えることもあるが、基本は「へー」って思うくらい。
- ・ ネットで配信されている方が見ると思う。

<闇バイトや大麻を止めるために、その危険性などをみんなに知ってもらうにはどうしたらいいか?>

- ・ とにかく目に焼き付けることが重要だと思う。
- ・ (目に焼き付けるための場所は) リアルよりも、ネット配信とかの方がいいと思う。
- ・ (闇バイトあるよ!のような) 悪いものの方が、(闇バイトは危険だからやめよう!のような) 良いものより目につきやすい理由は、ポスター自体が印象的だったりするものが多いからかもしれない。
- ・ (警察庁のポスターを見て) 上の方の文字はバツと読めるけど、下の方は文字が小さくなってきて、あまり読む気が起きない。
- ・ もうちよい漫画形式で書くとか、大きな文字で書くとかした方が、やっぱり読みやすいのかなって思う。

<内容的に気になるのはどういうものか>

- ・ よくある勘違いを示す形式とかは、自分は結構興味を持つタイプ。
- 警察のポスターを貼ったり、リーフレットを置いたら良いと思う場所がありますか。
- あなたは、こういったところと関わりを持っていますか。また、そこで警察のリーフレットをもらったり警察の人が出前講座に来ることについてどう思いますか。

<普段どのような場所に行っているか>

(ファシリテーターより提示された、いくつかの場所の例を見ながら回答)

- ・ 若者支援団体
- ・ 図書館
- ・ フリースクールのような場所
- ・ アルバイトはちゃんとしたことはない
- ・ カフェ
- ・ ボーリング
- ・ カラオケ
- ・ 昭和記念公園はたまに行くけど、イベントはあんまりない。地域のイベントなら、神社のお祭りとかは行ったことある。

<普段行く場所にポスターがあると見るか>

- ・ こういう場所にポスターが貼ってあると見るかもしれない。
- ・ さっきも言ったけど、レジ横にあると特に見る気がする。
- ・ スマホとか本とかがない状態のときで、外にいる時って、暇で何か目の前のものを見たりとか、ポスター読み始める。だから、スマホが使いづらい場所に設置する方が、目にはつくような気がする。
- ・ ゲーセンとかも、本とかスマホとかはあまり使わない。その代わりに、結構ゲームするための施設だから、ゲームしちやったりとかはするけど。
- ・ ゲーセンには、休憩スペースとかがあるので、あそこら辺に置いたりしても、目にはつきやすいかもですね。
- ・ 大きめの神社であれば、リーフレットとか置くと、持っていってくれる可能性はあるかも。海外向けには（リーフレットは）やってないとは思いますが、観光客とかも多くなるので、ちょっとは効果あるかもしれない。

<警察が出前で授業をやっているが、そのことについてどう思うか？>

- ・ 参加したことはない。
- ・ 機会があるなら、聞いてみてもいいかも。くらい。
- ・ （若者支援団体に来てくれるなら）私は興味がある分野なので聴くかもしれないが、他の人が聴くかどうかはわからない。

<図書館など、誰でも自由に行ける場所で開催されていたらどうか>

- ・ 気軽に参加できる気がするので、参加する人は多そうなイメージはある。
- ・ ちらっとのぞいてみて、「あ、なんかやってる」となって、ちょっと参加してみようかなと思う感じ。
- ・ ただ、自分自身は最寄りの図書館が遠いので参加はしないと思う。

<インターネットを見るのはどんな時か>

- ・ 時間があると見ちゃう。
- ・ テキスト投稿アプリや、ショート動画投稿アプリを見ている。
- ・ ショート動画投稿アプリは今静止画を何枚か載せられるので、漫画をそこに載せるのも良いと思う。
- ・ 動画よりは、テキスト投稿アプリとかショート動画投稿アプリとか写真投稿アプリのような、画像を投稿できる SNS の方がいいと思う。
自分のペースで見れるから。

- 学校に通っていない人に警察のメッセージを伝えるのに良いと思う方法について、あなたのアイデアを教えてください。

<興味のない人に見てもらうにはどうすればいいと思うか>

- ・ 話を聴かないというのは、関心がないからだと思う。
- ・ 簡易的に伝えるためにも、本当にネットとかにも、でっかい文字だけを、重要なところだけを書いた文字だけのものをネットで配信するとか。

<友達との間で、闇バイト禁止について話題にするにはどうすればいいと思う？>

- ・ そもそもきっかけがないからだと思う。
- ・ 何か友達と話題になる基本的なシチュエーションって、多分、帰路とかで、一緒に帰ってる時に、パッとポスターが出てきて、それを片方が話題にして、友達間で話題になるとかだと思うが、そういう場面に遭遇しない。
- ・ 人と一緒にいる時に見れば話題になるかもしれないが、家で一人で見ると話題にならない。
- ・ そういう意味では、外でも、（ポスター以外に）インターネットで配信することは重要かもしれない。

<どうして、闇バイトなどが危険だと知ってたのか？>

- ・ ニュースとかで見ることがある。
- ・ 情報バラエティ番組で見た。闇バイトに手を出した人の結末とかを見て知った。やらない方がいいんだろうなと思った。
- ・ 闇バイトをやったら、結果的にこうなるよ。というのは公にした方が、みんな意識すると思う。
- ・ 大麻についても、動画視聴サイトとか犯罪系の漫画を取り上げていたりとか、実際あったニュースを漫画形式にしたりしてる人がいる。
自分はやっぱりそういうのとかを好き好んで見てたりするから、やっぱり意識がいきやすいのかなって思う。

<闇バイトや大麻は家で話題になったりするか>

- ・ 流行ったりすると、話題になったりする。
- ・ ニュースで「流行ってますよ」と出るくらいでは話題にはならないけど、大麻がきっかけで亡くなっちゃったりすると話題になる。
- ・ あとは、情報バラエティ番組とかで、「大麻に手を出した人は結果的にこうなる」みたいなのを見ると、話題にはなる。
- ・ 「亡くなった」とか「結果こうなった」とかだと、印象的なので話題にはなる。
でも、ニュースのような断片的な情報だと、印象に残りづらい。

<ストーリーがあると記憶に残りやすい？>

- ・ そんな気がする。

- ・ 「結果的にこうなった」と言われると、自分はそうなりたくないと考えるので、やっぱり意識しやすくなったりする。

<キャラクターを使うとして、アニメのキャラのようなやんわりしたものと、シリアスなものだとどっちが効果的だと思うか>

- ・ 自分は結構シリアス系のほうがいいと思う、やっぱりリアル感があるし。
- ・ 大麻の危険性のやつで、結構自分が印象に残っている実話を元にした漫画があって。コロナ禍で客足が途絶えて、客を呼び込むために、ラーメンに違法薬物を混ぜ込んで、呼び込んでみたいいな事件を題材にしたもの。そういう独特なことの方が、印象的に残っていたりしたんで、そういったものを配信した方が、余計に印象的には残るんじゃないかなと思う。
- ・ 確か海外のやつだったが恐ろしいですね。たまたま入ったら、ラーメン屋とかで、実際そういうのを食べちゃったら、もう1発アウトじゃないですか。

<警察の人が、もしここにいたら何か質問してみたいか？>

- ・ 実際に来たら怖いので、質問はしないと思う。
- ・ もっと警察に対する興味とかがある人はぐんぐん質問しに行くとは思うけど。
- ・ 怒られたことがあるとかではないが、なんとなく怖い。
- ・ でも、出張の出前講座とかが警察の人の方がいいとは思う。
話の信ぴょう性というか、重みがあっていいと思う。

<これまでの話の中で、特に印象的なことや強調したいことはあるか？>

- ・ 2つあるんですけど、さっき興味を持たない人に簡易的に教えるってということと、やっぱり情報バラエティ番組とか、漫画で表現することが個人的には強調した方がいいんじゃないかなとは思った。

2025年11月2日回

実施概要

テーマ

- 高校生じゃない高校生年代の人に、犯罪から自分を守るためのメッセージを伝えるには、どうしたらいいと思う？

開催日

- 2025年11月2日（日）

参加者

- 6名

形式

- 出向く型（若者支援団体）

1 班（3名）

- 闇バイトや大麻の危険性についてのポスターを見かけたり、警察の公式サイトを見るなど、警察が発信する情報に接したことはありますか。

<（それ、「バイト」ではなく「犯罪」です!!・ネットには危険がいっぱい・大麻みんな知らない本当の怖さ、のポスターを見せながら）こういったポスター見たことある？>

- ・ 見たことない。
- ・ 見ているのかもしれないけど、記憶にはない。
- ・ ここにはないが、薬物のダメ。ゼツタイ。のポスターは見たことある。
- ・ わかる、あれだけめっちゃ見るし、記憶に残ってる。
- ・ 確かになんかめっちゃくちゃ見たことある気がする。あれの記憶に残り具合はやばい。
- ・ ポスターの繋がりがだと、指名手配のポスターも記憶に残っている。
- ・ 警視庁のXは見たことあるかもしれない。でも、何で見たかは覚えていない。

<ポスターはどこで見た？>

- ・ あんまり記憶にない。
そもそも、ダメ。ゼツタイ。のポスターしか見たことない。
- ・ 強いて言うなら駅。
- ・ 小学校で見たかも、あとは警察に行った時にあったのは覚えている。
- ・ 警察では確かに見た。言われてみれば思い出した。
- ・ そもそもポスター見ようと思って歩いているわけじゃないから、本当に記憶にはない。

<ポスターを見た時どう思った？>

- ・ 今見た感じだけど、文字が多くて正直読む気起きないなと思った。
普段とかスマホ触りながらなので、もっと読まないと思う。
- ・ 薬物をやっていた時は気まずかった。今は何も思わない。
- ・ 薬物は関係ない人には全くピンとこないポスターだし、文字だと思う。
やっていたり、薬物のことを考えている人にだけ、ビビってくるのだと思う。
- ・ ダメだけ言われても伝わらない。何を言いたいかわからない。
- ・ 万引きとかも一緒。ダメなことはわかっているので、ダメだけ言われても伝わらない。
- ・ ダメだけだと、逆に興味も湧いてきて、手を出してしまう気もした。
- ・ 自分が薬物やった時も、ダメなことはわかった。
でもその上で、我慢できなかつたり、限界が来て手を出した。そういうこともあるので、ダメだけだと伝わらないと思う。

<どうすれば伝わるようになると思うか>

- ・ 防犯カメラ作動中と書く。
今も書いているかもしれないけど、もっと大きく目立つようにする。
- ・ 万引き G メンみたいな人を配置する。結局文字で書いても読まないし、伝わらない。
- ・ 何がダメかを書いて欲しい。そうしないと、結局何がダメかわからないままで、ただただ禁止されているだけになる。
それか、やったらどうなるのか、手を出したあとの怖いことを先に教えるのがいいと思う。死んじゃうのか捕まるのか。
- ・ ネットで色んな情報を調べられる中で、国によって OK や NG があって、やってしまうと本当にダメなのかわからない時がある。
- ・ そもそもポスターが効果的かどうかは怪しいなとは思いますが、貼らないよりは、貼った方がいいとは思っています。
- ・ 立ち止まって読む人なんていないと思うので、文字はもっと大きくして、絵も大きくして、インパクト重視にしたらいい。
- ・ 使ったらこうなる。を示して欲しい。どうなるかは使わないとわからないので、ダメと言われても、なんで？となるだけ。
- ・ (闇バイトのポスターのように) パターン化して示すのはイメージが湧いていい。
断るかどうかは個人の意思とかによるので、そこは仕方ない、変えられない。
なので、どんなことが起きるのかくらいを先に教えてくれるのはめっちゃいいと思う。心当たりある場合は、ドキッとするといい。これも、個人次第みたいなのところはあるけど。
- ・ 貼っているだけだと見ないけど、自分の家にチラシとして届いたら見るといい。スマホいじりながらとか、歯磨きしながらとか。
- ・ 紙のポスターっていうのが今風じゃないので、SNS とかネットの掲示板みたいなのところとかで、周知する方が絶対がいいと思う。

<警察の公式サイトを見たことあるか>

- ・ 見てない。
 - ・ 見たくない。
 - ・ 警視庁のテキスト投稿アプリはフォローしている。
 - ・ 警察の広報は、ダメ。ゼッタイ。くらいしか記憶にない。
- 警察のポスターを貼ったり、リーフレットを置いたらよと思う場所がありますか。
- ・ コンビニ。1 日何回行くんだってくらいに行くので、目に入って無意識に記憶するかもしれない。
でも、前提としては、そんなにポスターを見るような意識を持って生活していない。
 - ・ 「犯罪ダメ」というポスターがコンビニにあってもいいと思う。なんか目は引くかも。
 - ・ 「薬物」とかそういうキーワードは、自分がやっている人にしか目に入らないと思う。考えてもない人には本当に関係ないので、気にならないと思う。

- ・ やっぱりポスターは見ないので、デジタルを考えた方がいいと思う。お金とか色々制約もあるのかもしれないけど。

<ポスターを貼るといことから離れるとどこかあるか。例えばパチンコのティッシュとか>

- ・ いいと思う。見ると思う。
- ・ ポスターだけだと見ないけど、ティッシュがあると見るかもしれない。
- ・ ちょっと話変わるけど、そもそも大人を避けて生きてた。信用できないというか。捕まって初めて、（若者支援団体の職員を指しながら）こういう信じられる大人に出会えて。あ、大人って信じれるんだって。
- ・ こういう（闇バイトや大麻）に手を出したり、関心を持つ人って、そういう大人を信用してないマイルドとかあると思うので、誰が言うかってのは大事かも。
- ・ 警察だと、（手でバツのジェスチャーをしながら）ちょっとなあってなる。

● 警察のリーフレットをもらったり警察の人が出前講座に来ることについてどう思いますか。

<警察の出前授業は出たことある？>

- ・ ない。
- ・ 若者支援団体でもあるのかもしれないけど、自分は出たことない。
- ・ 小学校かその前くらいに、地元で自転車の乗り方を教えてもらったのは覚えている。
- ・ 「“お”さない」「“は”しらない」「“し”ゃべらない」も覚えている。キャッチーな感じだからか、記憶に残っている。
- ・ 基本は覚えてない。

<どうすれば記憶に残るか>

- ・ さっきの「おはし」のように、キャッチーな標語とかは残る。
- ・ 社会の教科書の戦争のページみたいに、インパクトある事実を教えてくれると記憶に残る。適切な例えじゃないのかもしれないけど、戦争のところは、血だらけとか、人がたくさん倒れたりとか、そういうのは、どうしても記憶には残ると思う。
- ・ 薬物を使って死んだとか、自殺したとか、そういう実体験に基づく内容を説明してくれると記憶に残る。
- ・ 自分も過去手を出したとか、実話を語ってくれる外部講師がいると聴いてみようと思うし、多分記憶には残る。
- ・ 今自分たちがいる若者支援団体では、たまにそういうのがあったり聴いている。
- ・ 少年院でもそういう授業みたいなものがある。共感できる。そうでない人が言う内容は、なんか感じない。説明されているだけというか。
- ・ 大人に話は聴いてもらえないし、聴いてくれる大人に出会えるような環境にいなかった。なので、実体験をもった話や説明が欲しい。
- ・ 出前授業とかで単純にダメだダメだと言われるだけより、話を聴いてもらえる方がいい。

- ・ ネットの活動とポスターと両方するといえると思う。ネットの方が相談しやすい。

<今いる若者支援団体で、出前授業があると参加するか？>

- ・ 警察がダメだと言って言うだけなら行かない。他のことはもう入ってこない。
なぜダメか。を教えてくれるなら行くかもしれない。
- ・ そういった情報を得る場所として、今いる若者支援団体は間違いない。信頼している。
- ・ 出前授業が会議室みたいなところに集められて行うのなら、ちょっと難しく感じる。

<不登校等で学校に行けなくなった人たちの居場所は？>

- ・ 就労支援センターには 40 代の人とかもいる。今学生ってわけではないが、就労支援センターのような居場所は必要かもと思った。
- ・ 40 代の人にならって就労支援センターに来るのは、これまで出会えなかったことが理由だと思っていて、そうすると親や学校の責任かなと思うこともある。

● 学校に通っていない人に警察のメッセージを伝えるのに良いと思う方法について、あなたのアイデアを教えてください。

<学校に通っていない子どもにメッセージを届けられる場所は？>

- ・ 子どもの家。
- ・ 警察署。
- ・ 学校に通っていないといっても、「元気が、学校に行っていないだけ」と「引きこもっていたりで、学校に行けていない」で大きく違うと思う。

<まずは、「引きこもっていたりで、学校に行けていない」人に対しては？>

- ・ そもそもそんな状態ではないので、情報を届けるとか不可能に近いと思う。
- ・ 親ですら会えていないかもしれないのに、警察とかの外部がどうこうするのは難しいと思う。むしろ逆効果かもしれない。変に興味を持って手を出しちゃうみたいな。

<次に、「元気が、学校に行っていないだけ」な人に対しては？>

- ・ 多分全部全く見たことない人はいないと思う。伝え方が悪いんじゃないかな。
- ・ これだけテレビやニュースでやっていたら、流石に届くと思う。
- ・ 悪いやつって、良いやつのフリをして近づいてくる。
なので、警察が他の人のフリをして情報を届けるとかは良いかもしれない。警察ってだけでちょっと身構えるし、なんならシャットダウンする。

<広告はどこで見える？>

- ・ テレビ CM、動画サブスクリプションサービス。

<スマホでよく使うアプリは？>

- ・ テキスト投稿アプリ。
- ・ 写真投稿アプリ。
- ・ メッセージアプリ。
- ・ ショート動画投稿アプリ。
- ・ 動画投稿アプリ。
- ・ 動画サブスクリプションサービス。

<その他に今日の話を通して思い出したこととか、話したいことはあるか？>

- ・ 防犯のポスターがずっと変わっていないなと思った。
変わってないと絶対見ないし気づかないので、多少変えていった方がいいと思う。
- ・ 自分はダメだとわかっていたし、捕まるとわかっていたけど、限界でやってしまった。
そういう人にも伝わるようにするには、ダメな理由だけではなく、相談先をセットで伝えていくといいと思う。
- ・ 相談先という意味では、駆け込み寺や炊き出し等の居場所の存在も知られていない。
そういう、居場所も相談先とセットで伝えるのは効果的だと思う。
- ・ ポスターとか貼る場所はやっぱりコンビニだなんて思うけど、待ち時間が暇な場所とかに貼ると目には入るんじゃないかと思う。

<例えばどんな場所？>

- ・ 病院、役所、バス停、とか。
バス停とかは、ラグジュアリーブランドの広告を掲載している場合ではない。

<最後に今日の感想を一言ずつ>

- ・ こんな場所に来たことなかったなので、緊張していた。
正直、ただただ聴かれたことに答えるだけの形式になるんだろうと思っていたけど、全然違って、楽しかったし、いい意見が言えたとし、聴けたと思う。また来たいと思えた。
- ・ 自分も緊張していたが、良いチームワークで、話を引き出してくれて楽しかった。
- ・ 自分で思っていたより話せたし、チームとして話が弾んだと感じた。自分が言えただけじゃなくて、他の人の意見も聴けたことで、学びもあった。

2班（3名）

- 闇バイトや大麻の危険性についてのポスターを見かけたり、警察の公式サイトを見るなど、警察が発信する情報に接したことはありますか。

<（それ、「バイト」ではなく「犯罪」です!!・ネットには危険がいっぱい・大麻みんな知らない本当の怖さ、を見せながら）こういったポスター見たことある？>

- ・ それ、「バイト」ではなく「犯罪」です！を、交番で見たことがある。
- ・ ネットには危険がいっぱいを見たかもしれない。
- ・ オンラインカジノのポスターだったらよく見る。

<SNSで警察からの啓発メッセージは見たことある？>

- ・ 類似するものを見たことあると思う。
- ・ リーフレットを置いているのは見たことある。市役所にこの前行った時に、見た気がする。リーフレットは大体ポスターの下にあるので、自然と目が行く。手には取らなかった。

<どうして手にとらなかったのか>

- ・ 興味が無いっていうのと、もうこういうのはやらないっていうのが大前提にある。

- 警察のポスターを貼ったり、リーフレットを置いたらよいと思う場所がありますか。

<これだったら見るかもしれない。というアイディアはあるか>

- ・ 文面とか絵が興味持ちにくい。
- ・ 絵ひとつ取っても、ありふれたもの。例えば、人気な何かとコラボしたものにするとかすれば、それに興味がある人は見る。
- ・ こういうのに興味がある人は、ある意味では危うい人。であれば、ヤンキー漫画とコラボして貼るとかすると、一歩立ち止まるんじゃないか。
全く真逆のアニメとかじゃなく、少し近いものとコラボすると良いのかなと、この資料をもらった時に思った。
- ・ 文字の量は少なくして欲しいと思う。

<この中で自分が読みそうなポスターはあるか>

- ・ それ、「バイト」ではなく「犯罪」です！かな。
しちゃいけないバイトを教えてくれているから、それだったら見るかもしれないと思った。
- ・ いまB型（就労継続支援B型）でバイトもこれからしたいと思っているので、してはいけないバイトを教えてくれているので。
- ・ 闇バイトとか知ってはいるし、やっちゃいけないバイトも見たらわかると思うが、一応見ておく。

- ・ そもそも興味あるものしか見ようとは思わない。

<ポスターとリーフレットの違いはあるか>

- ・ リーフレットは読むことになるので、手に取るのに少しハードルはある。
- ・ バイトとか書いてあったら見るかもしれないが、ただ見るだけのポスターの方が手軽。

<どこに置いておけばいいと思うか>

- ・ バイトできるようになるのが高校からなので、高校とかに置いておくといいと思う。

<学校に通ってない高校生年代とかだとどこに集まりそうか、どこにポスターを置くといいか>

- ・ コンビニとか、お金がかからなさそうな場所。
(ファシリテーターが持参した場所カードを見ながら
(ファシリテーターが持参した場所カード：「カラオケ」「児童相談所」「オンラインゲーム」「自分の家(部屋/リビング)」「アルバイト」「親戚の家」「ボウリング/ビリヤード/ダーツなど」「ファミレス」「友だちの家」「シェアハウス」「地域のイベント」「駅のホーム」「公園」「おじいちゃん/おばあちゃんの家」「図書館」「公民館」「ネットカフェ」「ハローワーク」「フリースクール」「サークル活動」「保健所・福祉事務所」「職業訓練」)
- ・ ゲームセンターによく行くので、言おうと思ったが、ゲームセンターにポスターが貼っているのを見たことない。なぜだろう。
- ・ ゲームセンターに行く人を否定するわけではないが、未成年がタバコ吸っていたり、ガンガンお酒を飲んでいたりもするので、効果ないんじゃないかと思った。
変に教えちゃって、「稼げるなら、じゃあやるか」「バレなきゃいいか」と逆効果の可能性もある。
- ・ そういった危うい少年・少女は啓発には興味がないので、見ないし、見ても気にしない。
- ・ そういう人に伝えるには、極論は捕まった方が早い。
でもそういうのは議題ではないと思うので、ゲームセンター等のいそうな場所で、地道な働きかけが重要だとは思う。でも、ポスターとかに興味があるとはあまり思えない。
- ・ 高校に行かないで、中卒で働く子って、バイトもいるけど、職業訓練所やハローワークに行く気がする。
ここで(職業訓練所やハローワーク)で何かを伝えればいいんじゃないかと思う。
- ・ ここに出ている場所(ファシリテーターが準備した場所)は、すごく平和な空間だと思う。
- ・ ほかに言うと、街中。六本木とか。薬なんてすごい簡単に買える。こんな平和な場所より路上やSNS。SNSで薬手に入れようなんて簡単にできる。
自分は街中ってすごい危ないんじゃないかと思っている。
- ・ 自分の経験談で言うと、地元のちょっと有名な駅で集まる。高校生の集団がタバコを吸っているとかよく見ると思う。だからと言って、そこでポスター貼っても見ない。
- ・ ファミレスとかカラオケで地道にやっていくしかないと思う。
- ・ 平和な場所から地道にコツコツやっていくしかないのかなという気はする。

<警察の SNS 等を見たことあるか？>

- ・ 見たことない。
- ・ 自分は啓発活動や講演会をしているので、それに伴って見たことはある。
- ・ 調べたことない。

<今やっている講演会で、若者に狙おうと思うとどんな工夫ができるか>

- ・ 中学生を狙っていくのが効果的だと思う。
義務教育の中なので全員にアプローチができる。高校も義務教育みたいなもんだが、行かない人も
いるので。
- ・ 中学生は、まだ大して社会も知らないし、悪いことしても万引きや物を壊す程度。その程度の時に、
アプローチするのが大事だと思う。
- ・ 高校生は、バイトもできるようになって、世界が広がる。そうすると、なかなか外部から方向転換する
のは難しいと思う。

<高校に通ってない高校生年代に、講演会をしたいとした場合の場所作りはどういうアイデアがあるか>

- ・ 極論ない。まず集めるというのが難しい。
なので、その前にどうするべきかが大事だと思う。
- ・ 自分の活動を職業訓練所やハローワークで伝えても来るとは思えない。

● 警察のリーフレットをもらったり警察の人が出前講座に来ることについてどう
思いますか。

<（ファシリテーターが持参したカードを見ながら）自分が行ったことある場所は？>

- ・ コンビニ、ショッピングモール、ゲームセンター、カラオケ。
- ・ これとこれとこれとこれと…（ファシリテーターが持参したカードを指しながら、図書館、公民館、児童
相談所、ファミレス、友だちの家、コンビニ、ゲームセンター、ショッピングモール、SNS、公園、おじい
ちゃん・おばあちゃんの家）
友だち数人と行っていた。
- ・ 一番よく行っていたのはコンビニ。
- ・ 公民館はバドミントンをやっていたので、コートが借りれるということで行っていた。
- ・ どこにも行かない、家にもいない。駅のホームでずっと喋っていた。電車から降りてずっと喋って、終わっ
たら帰る。

<警察の人が自分がよく行く場所に来て、何かを伝えようとしたら参加するか>

- ・ 絶対に行かない。
- ・ 何もしてないけどドキッとする。
- ・ こういうのに手を出す人っていうのは、この辺（ファシリテーターのカードを指して）にもいるけど、家庭
裁判所に行く。少年院に行く行かないは別として。

本当に何かを伝えたいというのであれば、家庭裁判所と組んで少年を集める。

- ・ 一つの処分として、試験観察がある。その人たちを対象とするのであれば、家庭裁判所に行かないといけないので、そこでこれらを必修科目にするとか。強制的にしないと集まらないし、興味を持ってない。
- ・ 強制力は家庭裁判所や学校以外にはない。
- ・ こういう講座とかは、ある意味人から強制されるもの。それは何かしらの力・権力が必要で、そうしないと集まらない。
- ・ やんわり出前講座やポスター貼る・リーフレットでは効果はたかが知れてる。
- ・ 16 から 18 は自由。親の言うことも聞かないのに、地域の人とかから言われても、はあ？となるだけ。反発して終わり。これは不良とか不良じゃないとか関係なく、この年代なら大体そうなる。
- ・ 自分もそうだった。親の言うことも、地域の人言うことも、はあ？ てなっていた。

<今いる若者支援団体にで出前講座が行われたら参加するか>

- ・ この若者支援団体は、興味ある人やこういう生き方をしたいと思っている人が集まっている。だから参加するかも知れない。
でも、興味ない人を呼び込むのは絶対に無理。
- ・ 危うい人たちっていうのは、こういう講座とか絶対に興味がない。

<ゲームセンターのような、平和とそうでない中間の場所で出前講座をすると参加しそうか>

- ・ ゲームセンターも場所による。市川市のゲームセンターなんかは、もう荒れすぎていて絶対に無理。
- ・ お兄ちゃんタバコどう？と誘われたりする。そういう場所だと違う。
- ・ 何かを誘われた時、自分一人だと絶対にやらないが、誰かと一緒だとわからない。友だちが使っていたら、流れて自分もってなってしまうかも知れない。
- ・ 時間帯にもよると思う。新宿の歓楽街も、昼だと大丈夫だと思うし。

<SNS を使った広報に何かアイデアはあるか>

- ・ SNS は効果的だと思う。
- ・ その画面をタップしたいなと思わせるもの。
- ・ してはいけないことをした男の末路。とかの動画投稿アプリの漫画がある。
こういうのを見て、やっちゃいけないんだなと勉強をしている。
- ・ 公共機関の人がすることって堅苦しい。あんなの誰も見ない。単純につまんない。
- ・ 警察庁発信です。でもいいんだが、作り方が問題。一言で言うつつまんない。センスないんだなと思う。
- ・ 限られた予算の中でやるのも難しいと分かってはいるが、民間企業に委託するとか。民間の方が面白く作れると思う。
- ・ 公共機関は非営利団体のようなもの。そんな人が作るものはつまんない。大きな議題を掲げているが、何をしたいとかがないし、何を求めるもない。どこの層にも当てはまらないものになる。誰も見ない、こんなものあるんだで終わるし、そんなの若者世代に届かない。
- ・ バイク好きな人はバイクが出てきたら一旦見る。そういう人それぞれの興味の関心を入りに作るべ

きだと思う。

- ・ 警視庁の SNS を見るのも、話題作りのため。自分の中から出る関心・興味がないと見てもらうのは難しい。
- ・ 有職少年・無職少年には防止教室ができないと書いてあるが、正直できないと思う。無理だと思う。16 歳から 18 歳を対象にしたいのであれば、厳しいんじゃないかと思う。それが私の結論。
- ・ 高校に通ってない高校生年代にアプローチしたいのであれば、中学生の時にアプローチしないといけないと思う。
もちろん小中学生でも、やばいなって子はいるが、高校生年代と比べると一部。そういうのは、どの年代でもあり得るので、仕方ないものだと思う。

<そういう厳しい中でも警察のできることは？>

- ・ ないですね。
強いて言うなら、向き合ってもらおうこと。自分がお世話になった人とは今でもご飯に行く。
- ・ 警察はどうしても点数稼ぎにしか感じない。逮捕じゃなくて予防をすべき。

<警察はポスターやリーフレットではなく、個人的な関わりを持つ手立てに注力すべきということか？>

- ・ そうだが、難しい点もつきまとう。
- ・ 16 歳から 18 歳でもなんでもいいが、その後も関係が続いていると、必ず（警察側にとって）危険なことが付きまとう。その人の立場が危くなる可能性もある。

<ここまでの流れを踏まえて、追加で言いたいこと>

- ・ 自分は全く興味がないこともあって、出会っても見ないし、流れてきても多分見ない。じゃあどうすれば興味持てるんだって言われても難しい。

<自分が見るのは難しくても、友だちに伝えるとしたらどうする？>

- ・ わからない。
- ・ 闇バイトだったら、報酬とリスク釣り合っていない？って言うかも。そんな危険なことするなら、もっともらって良くない？って言う。

<闇バイトや薬がダメなものってどこで知ったのか？>

- ・ 警察ドキュメンタリーで知った。
あれを見て覚醒剤を使うと逮捕されると知った。あとは、情報バラエティとか。
- ・ テレビのストーリーで、覚醒剤って使ったら逮捕されるんだっていう認識を持って、ダメなものだと知った。
- ・ 中学生の頃に、明らかホームビデオみたいな形式の映像で、覚醒剤使った人の様子を見せられた。それで怖いなと思った。実際に覚醒剤をやった人を見て、やばいなと思った。
- ・ 自分で体験・経験しないと何事もわからない。実例を持って示されると認識は変わる。
- ・ 闇バイトでいくらもらえますみたいな広告を見たっていう話をしている、こんなにするのにこれだけしかも

らえないんだ、リスクでかいなと思った。

- ・ 同じ施設に色んな人がいるので、薬物・性犯罪・窃盗もいるが、話聞くと、ああ結局こうなるのかと思う。どうなったか、やった人の末路を知るとやらなくなるんじゃないかと思う。
- ・ そういう末路を知るのが、SNS をもっと活用すべきだと思う。
- ・ テレビだとテレビ局側の意向が反映されたりするので、ネットを有効活用するのがいいと思う。
- ・ 実際に関わった人とかに匿名で発信してもらうとかもいいと思う。実体験が伴うと響く。そういう風に発信できる人を募って、発信してもらうとか。
- ・ 犯罪をした人が集まる場所に 1 年くらい放り込んでおけばやらなくなると思う。刑務所だけじゃなく、グループホームみたいなところでもいいし。こうはなりたくないなって思って効くと思う。
- ・ ダメですとか言われもわかんないけど、実際に手を出した人にどうなったかとかできるなら全部説明してもらった方が、自分の中でイメージもつき、わかりやすく、理解できると思う。
- ・ そのやり方はめっちゃいいと思う。
- ・ 警察にバレなきゃいいと思いがちだけど、どこでどう漏れたのかとか、どこでどういう風になったのかとか聴けるなら聴いた方がいい。
- ・ 警察に直接バレたのか、例えば親とか友だちとか売人が捕まったとかのような、誰かを介して漏れたのかとかを知ると、警察にバレなきゃいいっていう考え方は正せるんじゃないかと思った。

< (犯罪をした人が集まる場所に 1 年くらい放り込んでおけばやらなくなると思うについて) どうやって施設に人を連れていけばいいのか >

- ・ 施設に連絡して、協力してくれませんかとか調整して、何名か連れてきてもらう。意見を言ってくれる人は集まると思う。
- ・ 話してくれる対象者の選定は、16 から 18 歳に限定的にしなくていいと思う。個人的にはターゲットは中学生だと思う。そこでどれだけ悪の芽を摘めるか。
- ・ 施設の人を学校に連れていくとかも一案だと思うが、教育委員会が絶対に Yes とは言わないと思う。そういうところだと思う、硬いというか。
- ・ 特殊詐欺は不良みたいな人もやるが、大学生もやる。口座を売るとか。そういう人って情報弱者だったりもするので、義務教育の時点で教えることが重要ではないかと思う。
- ・ 薬物乱用防止講座とか、「お前やったことあんの？」ってなる。ただ危険性を訴え、事実を説明しているんだと思うけど、リアルじゃないというか。薬物依存回復支援団体でもいいし、来てもらうとか。
- ・ 情報さえみんなが共有できれば、友達がやろうとしたら止めたり、アドバイスしたりできる。遠回りかもしれないけど、結果として届いていく。そういう活動が警察としてできるアプローチだと思う。
- ・ 物によっては、小学校高学年からアプローチしてもいいと思う。
- ・ 自分が、万引きは小学校からしていた。物を盗ってバレない、盗れちゃう快感をその時からわかっちゃう。詐欺とか強盗は先行きすぎてわからないが、万引きとかは小学校でもある意味身近。
- ・ その人たちはどの辺から快感を覚え出したのかとかを説明する。物によって年齢を決めた方がいいと思う。
- ・ 犯罪が身近にあるというのを、若いうちから知っていくのは大事だと思う。